

1 2	単元名	合わせ言葉
-----	-----	-------

1 指導目標

- (1) 二つ以上の言葉を合わせて、複合語を作ることができるようにする。
(2) 二つの漢字を組み合わせて、漢字2字の言葉を作ることができるようにする。

2 指導内容

- (1) 合成語を取り上げて指導し、語彙の拡大を図る。
(2) 語構成を①名詞＋名詞、②動詞＋名詞、③名詞＋動詞、④形容詞＋名詞、⑤動詞＋動詞の5つのグループとして、語変化が分かりやすいようにする。

3 指導計画

時間	主な学習内容	指導上の留意点
1	<p>○学習のめあてをつかむ。 「言葉と言葉を合わせると、どうなるか？」</p> <p>○合わせ言葉を作る。 そのまま合わせる場合、合わせるときに濁音に変化する音便等のあることを知る。 (名詞＋名詞) (動詞＋名詞) (名詞＋動詞) (形容詞＋名詞) (動詞＋動詞)</p> <p>○複合語の成分を考え、仲間分けをする。 たけうま → (たけ＋うま) ゆきだるま → (ゆき＋だるま) あおむし → (あおい＋むし) はなび → (はな＋ひ) とびばこ → (とぶ＋はこ) やまのぼり → (やま＋のぼる) むしとり → (むし＋とる) しろうま → (しろい＋うま) もちあげる → (もつ＋あげる)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・パズル感覚で興味をもって取り組ませるようにする。 ・中国語は複合語を作るとき、連濁等の語変化が見られないので、特に注意するよう促す。 ・音便とは、発音上の便宜から元の音とは違った音に変わる現象である。一般に、①イ音便、②ウ音便、③撥音便、④促音便の四つがある。 ・成分を考えて、 なまえのことば→赤 うごくことば→青 かざりことば→黄 のシールで、仲間分けをさせる。 ・52ページのワークシート「ことばとことばを あわせて、ひとつのことばにしましょう。」を使い、本時の学習のまとめをする。
2	<p>○合わせ言葉を見付ける。 まどガラス こくばんふき ふでいれ ほんだな けしゴム げたばこ</p> <p>○既に学習した漢字を使い、複合語を作る。 のみ水 魚つり 水やり 虫とり 犬ごや 長ぐつ 古本 竹やぶ 麦ごはん など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・まどガラス→まど＋ガラス というように言わせる。

<p>○漢字＋漢字で、漢字2字の言葉を作る。</p> <p>①□から関係のある漢字を選び、組み合わせて漢字2字の言葉を作る。 例；手（足）、身（体）、河（川）</p> <p>②反対の意味になる漢字を入れて、漢字2字の言葉を作る。 例；左（右）、上（下）、大（小）</p> <p>③上と下の言葉のつながりを考えて、漢字2字の言葉を書く。 例；軽い石→軽石、小さい川→小川</p>	<p>・53 ページのワークシート「2つの漢字でできた言葉」を活用する。</p> <p>・漢字＋漢字＝熟語であることを教え、漢字の意味構成に関する学習へと発展させる。</p>
--	---

4 指導のポイント

- (1) 複合語については易しい語を選び、児童・生徒が挿絵を手掛かりにして分かるように工夫する。
- (2) 濁音化して複合語を作るとき、発音と表記を合わせながら指導する。音便化する複合語では発音に気を付けさせ、定着を図るようにする。

5 期待される成果等

- (1) 言葉がどのようにできているかを知ること、語彙を増やすことができる。
- (2) 初めて出会った言葉でもその言葉の成り立ちに気付き、今まで習った言葉との関係を知ることによって言葉の意味が分かり、理解することができる。
- (3) 言葉や漢字の面白さに気付き言葉に対する学習意欲を高めることができる。

6 補充・発展的な学習課題例

- (1) 「一じゅう」「一らしい」「一方」「一会」「一まわる」の付く言葉を考える。
(例) 「町じゅう」、「男らしい」、「作り方」、「うんどう会」、「走りまわる」
- (2) 三字熟語、四字熟語を学習する。

7 実践例

○中国語を母語とする生徒

この「合わせ言葉の学習」では、初め音便の変化に戸惑いが見られた。しかし、本単元の学習を重ねた結果、本人の口から「分かった！」との声が聞かれるまでになった。

ことばと ことばを あわせて ひとつのことばにしましょう。

1 名まえことば+名まえことば

(1) たけ+うま⇒

--	--	--	--

(2) ゆき+だるま



⇒

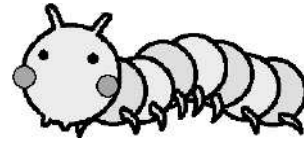
--	--	--	--	--

(3) はな+火⇒

--	--	--

(4) 青い+虫⇒

--	--



2 うごくことば+名まえことば

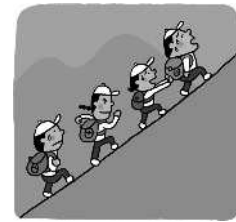
(1) とぶ+はこ⇒

--	--	--	--



(2) 山+のぼる⇒

--	--	--	--



(3) 虫+とる⇒

--	--	--



むずかしい？



3 れんしゅう

(1) 白い+馬⇒

--	--

(2) もつ+上げる⇒

--	--	--	--	--

ふたつの漢字でできた言葉

(一) 口から関係のある漢字を組み合わせて、漢字二
字の言葉を作りましょう。

れい	①	手	(足)	体
	②	身	()	足
	③	河	()	銀
	④	凶	()	畑
	⑤	手	()	山
	⑥	金	()	所
	⑦	田	()	物
	⑧	風	()	雨
	⑨	品	()	川
	⑩	場	()	画

(三) 上と下の言葉のつながりを考えて 漢字二
字の言葉を書きましょう。

れい	①	軽	い	+	石	↓	(軽	石)
	②	小	さい	+	川	↓	()	
	③	白	い	+	馬	↓	()	
	④	小	さい	+	鳥	↓	()	
	⑤	青	い	+	空	↓	()	
	⑥	若	い	+	葉	↓	()	

名まえ ()

(二) 反対の意味になる漢字を◎に入
れ、二字の言葉を書きましょう。

れい	①	左	+	◎	↓	(左	右)
	②	上	+	◎	↓	()	
	③	◎	+	小	↓	()	
	④	◎	+	外	↓	()	
	⑤	長	+	◎	↓	()	
	⑥	遠	+	◎	↓	()	
	⑦	明	+	◎	↓	()	
	⑧	強	+	◎	↓	()	
	⑨	売	+	◎	↓	()	
	⑩	◎	+	低	↓	()	

